結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043（222）7207番
99.3.1 No. 4925

団交 2/19

無謀な合理化やめろ！
『年度末諸施策』団交

動労千葉は、二月一九日、一六時から、千葉支社において、千葉運転区の事務要員の削減、幕張・習志野電車区の要員削減、営業関係の要員削減及び駅業務の委託、契約社員の導入等「年度末諸施策」（申六号）に関する団体交渉が行なわれた。

団体交渉の中で千葉支社は、ＯＡ化、システム化すれば全て要員削減することができるとばかりに、まともに理由も説明せずに闇雲な合理化のみを強行しようとする姿勢を明らかにしてきた。

新たな分割・民営化攻撃粉砕に向け、職場からの反撃を強化しよう。

団交の概要は以下のとおり。

システム化だけで要員削減は無謀だ！

組合 千葉運転区、千葉車掌区、津田沼車掌区で事務要員を削減する具体的な根拠は。

会社 三区では、臨時や変行路について手作業で紙データをつくっていたが、「乗務員勤務実績管理機能」を昨年八月より本使用したことから、これまで手作業で行なっていた事務作業が軽減されたため、事務要員の見直しを行なうことになった。

組 新しいシステムに移行した場合でも、動乗勤をきちんと把握していないと新システムでも対応できない場合があり、事務要員の養成・教育体制を確立しないと、若手の育成も含めて将来的に不安だ。

会 若手を育てることも考えているが、運転士が下りられる場としての活用も含め検討している。年令は予測できるので、補充という形ではなく、知識・技術力を付けられるように前倒で異動を行なうように柔軟に確保していきたい。

組 全く矛盾している。運転士から下ろすと言うが、下ろされる場が次から次に合理化されたのでは、運転士なども不安になり、下りることを躊躇することになるのが実情だ。

また、下りた場合、見習いとして事務につくようになると思うが、主任でないと指導することができないのではないか。

会 現場で単務指定することもあり、入りやすい作業から入ってもらっており、仕事を教えることには問題ないと思う。

組 それでは何のために指揮命令系統を就業規則で定めているのか。事務の登用など、教育・養成体制を早急に確立すべきだ。

検修要員削減で故障発見できず・・

組 幕張・習志野電車区での要員削減の根拠は。

会 習志野は二〇九系九〇両の新造投入、幕張は二一七系四五両の増投入により交番検査時のパート別要員配置にあわせて要員をそれぞれ一名削減する。

組 習志野運輸区の二〇九系の交番検査要員はどうなるのか。

会 主任一名、運転台で二名、機械関係で二名の計五名体制となる。

組 現在でも、二一七系の交番検査が行なわれる時は、機動班から要員を持っていくために機動班の人数が減らされて作業する要員が足りなくなってしまっている。

しかも、今の交番検査では、ほとんどが目視検査になっているために、故障も発見できない情況だ。故障が発見できないような検査体制では問題があるのではないか。回答では、二一七系の故障は昨年一年間で一件となっているが、現場ではもっとあると認識している。

会 ＬＣＵの故障は限定的であり、件数自体在来線よりも低くなっている。

部品がない！

組 現在、どこの電車区の倉庫でも部品がなく、仕事にならないという声が上がっている。

会 一時的に部品が無いものと思うが、部品については一番無駄なコストがかかるため、在庫についてはできるだけ抑制しようと考えている。

しかそ、必要な部品については揃えられるようにしていきたい。また、工具については、現場で申告してもらえば揃えるようにする。

組 部品や工具が揃わないのは、現場から上に物が言えない雰囲気があるということだ。会社が、全て労務政策でやってきたためにこうした歪んだ情況になっている。

会 部品・工具の問題が団交で出たことは現場に伝え、必要な物は揃えるようにする。

新採の配置を！

組 検修職場の今後の要員についての展望はどのように考えているのか。

会 この間、技術系の社会人を計四名採用してきた。しかし、早急に要員を充当しなければならないと考えている。今後、メンテナンス関係は、単に技術継承だけでいいのかということも含め、全体を考えなければならないと思っている。

組 あと数年で検修職場の半数が年令に達するという情況の中で、現時点でも何の展望も示さない会社の姿勢には問題がある。もっと真剣に考えるべきだ。年令に達して要員が減る分だけ合理化で人減らするようなやり方では、何の展望も開けない。

職場切捨ての駅業務委託

組 今回内房四駅、外房一駅の業務委託を提案しているが、今後の委託にかんしてどのように考えているのか。

会 高齢者の雇用の場も確保とノウハウの活用も考え、当面日勤被管理駅の業務委託を行なうことを考えている。

組 現在、残っている日勤被管理駅はどこか。

会 松尾、千潟、飯岡、滑河、笹川、潮来の各駅である。

組 高齢者対策というならば、会社自身が責任をもってやるべきだ。社員とすれば、六〇才まで働きたいと思っているのは間違いない話だ。会社はよく「サービスを売っている」というが、業務を委託することは「サービス」をおろそかにしていることになるではないか。

会 やりがいのある仕事ができるような職場の確保ができると考えている。

組 「一部業務のアウトソーシング」と回答しているが、どこをどのようにしようと考えているのか。

会 例えば、電話案内の外注化なども考えられると思う。高齢化の問題は、営業だけの問題ではないので、全体として考えなければならない。本社の中で検討を行い、千葉でもさらに検討を進めていきたい。